

株式会社 Office Sin-ei
北摂研修センター

〒 669-1514

兵庫県三田市川除 45-1

TEL 079-558-7332

URL <http://hokusetsu-tc.jp>

Company data

代表

山本 圭司

住宅のユニット鉄筋製造販売を手がける（有）創桐で研修生を受け入れてきたノウハウを活かすべく2014年に設立された、北摂研修センターの代表を務める。専門知識や関西弁のケアなども含め、受け入れ先で即戦力として活躍できる人員を輩出している。

Personal data



海外からの研修生を即戦力に！ 温かなフォローで双方にメリットを

川上 北摂研修センターの代表を務めておられるそうですが、その母体となる1987年設立の（有）創桐ではどのような事業を手がけているのですか？

山本 どの住宅にも土台となる基礎があります。そこで用いる鉄筋の製造・販売が主業務です。この事業を手伝ってもらうため、これまでに10年以上、中国やベトナムから研修生を受け入れてきました。そして一緒に仕事をするなかで感じたことや改善すべきことを踏まえ、入国後の研修施設として「北摂研修センター」を設立したのです。

川上 実際に研修生を受け入れてきた経験があるというのは大きな強みですね。

山本 そうですね。研修生の多くは自国で日本語を勉強してくるのですが、たい

持ち合わせておらず、配属先で交わされる日本語についていくのは困難です。そのうえ関西弁が加わるとなれば、大半の研修生は理解できないのです。

川上 英文を読めるが話せないというケースに似ているかもしれません。

山本 そこで当センターでは建築分野に特化し、受け入れ先となるクライアントのニーズを踏まえたカリキュラムを独自に作成。研修の期間は約1ヶ月、「教科書をなぞる授業」ではなく生きた日本語で、専門用語や関西弁も教えます。スムーズに職場に溶け込める内容を盛り込んでいますので、受け入れ先、研修生ともにメリットがあると考えています。

川上 しかし異文化での生活は、言葉だけでなく生活スタイルの違いも大きな問題になると思いますが、そのあたりのケ

アについてはいかがでしょうか？

山本 授業で生活面の指導も行うほか、スーパーマーケットでの食材の購入や食事も自分たちで料理するなど、可能なかぎり日本の生活に馴染めるような工夫をしています。また講習の際には警察署や消防署から署員をお招きすることも。

川上 研修生にとって、そうしたフォローは心強いと思います。特に昨今、建設業界の労働力不足は深刻化しているだけに、これからますます必要になってくる取り組みですね。

山本 これからも研修生の意見やクライアントのニーズを柔軟に反映させながら、臨機応変に研修内容を改善していきます。研修生が楽しく仕事に入っていけるような研修センターにしたいですね。

川上 では最後に、事業への思いを聞かせてください。

山本 「研修生には日本を好きになって帰国してほしい」というのが私の願い。例えば拙い日本語でも、関西弁を使うだけで相手の反応は変わり、それによって受け入れてもらいやすくなれば良い思い出もできるでしょう。帰国した研修生が日本での経験を懐かしいと感じ、その良き思い出に興味を持った友人が日本に来てくれる——そんなサイクルを創り上げることができたら最高ですね！

Guest Comment

川上 麻衣子（女優）



日本を好きになってほしいという言葉が、私のなかでとても温かく響きました。関西弁のレクチャーも含め、実践を想定されていることは研修生の大きな助けになると思います。日本での経験が研修生にとって有意義なものであることを、私も代表同様に願っています。